

# 風水災害に備えて

風水害から家族を守る  
知識と対策、気象情報  
をこまめにキャッチし  
てください。



## 台風

### ●台風時の風の強さと吹き方

| 予報用語           | 平均風速(m/秒) | 人への影響                |
|----------------|-----------|----------------------|
| やや強い風          | 10～15     | 風に向かって歩かなくなる。傘がさせない。 |
| 強い風            | 15～20     | 風に向かって歩けない。転倒する人がでる。 |
| 非常に強い風<br>(暴風) | 20～25     | しっかり身体を確保しないと転倒する。   |
|                | 25～30     | 立ってられない。             |
| 猛烈な風           | 30～       | 屋外での行動は危険。           |

亜熱帯に位置する沖縄は絶えず台風の通り道となっています。平成15年9月10日に宮古島を直撃した台風14号は過去30年間で最大級の勢力で、最大瞬間風速80mに達し、宮古島に甚大な被害をもたらしました。

## 大雨・雷

### ●大雨・雷時の風の強さと降り方

| 予報用語    | 1時間雨量(ミリ) | イメージ                    |
|---------|-----------|-------------------------|
| やや強い雨   | 10～20     | ザーザーと降る。                |
| 強い雨     | 20～30     | どしゃ降り。                  |
| 激しい雨    | 30～50     | バケツをひっくり返したように降る。       |
| 非常に激しい雨 | 50～80     | 滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。     |
| 猛烈な雨    | 80～       | 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。 |

中城村では、平成18年6月4日から降り続いた大雨の影響で地盤が緩み、6月10日北上原の村道で約80mにわたり道路が陥没。その後も雨は降り続き、新たに5m陥没し安里公民館裏手約40mの地点まで土砂が押し寄せました。この大雨により計86世帯に避難指示・勧告が出されました。地盤の弱い所や低地に住む方は、気象台から発表される情報を利用して早めの対策を心がけましょう。

### 1 台風が接近したら、 まず家の補強を

補強する場所は、雨戸、窓ガラス、塀、物干、アンテナ、看板など。接近までに時間がある場合は、防水シートや角材等も用意しましょう。また、植木鉢は強風で倒されたり、飛ばされる恐れがあるので1カ所にまとめておくとう安全です。



### 1 大雨・洪水等の注意報と警報について。

#### (1)大雨注意報

1時間の雨量が40mm以上  
土壌雨量指数基準84

#### (2)大雨警報

1時間の雨量が80mm以上  
土壌雨量指数基準120

また、洪水によって災害が起こる恐れがある時は洪水注意報が発令され、重大な災害の恐れのある時は洪水警報が発令されます。



### 2 停電や断水に備え、 非常品のチェック。

食料、飲料水、懐中電灯、ライター、ラジオ、簡単な医療品は揃えてリュックに入れておきましょう。



### 2 傾斜地・がけ近くは土砂災害に注意。

大雨や集中豪雨で発生する土砂災害。

- ①小石がパラパラ落ちる。
- ②地面にひび割れができる。
- ③斜面から濁った水が流れでている等を見したら注意しましょう。また、避難勧告が出たらすぐに避難してください。



### 3 気象情報に注意する。

台風等の気象情報は、テレビやラジオなどで最新の情報を収集し、市や防災機関の広報等にも注意して聞いておきましょう。インターネットでも最新の情報を見ることができます。  
<http://www.jma-net.go.jp/okinawa/>  
(沖縄気象台)



### 3 雷の被害にあわない ために。

雷の稲妻と音の間隔が近くなったら家の中に入り、テレビのコンセントなどを抜き、部屋の真ん中にいるようにしましょう。また、野外では体を低くし、雷が遠ざかるのを待ちましょう。



### 避難の時は...

- できるだけ軽装で避難しましょう。
- 裸足、長靴は禁物。ひもでしめられる運動靴がよいでしょう。
- はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難し、とくに子供から目を離さないようにしましょう。

- 水面下にはどんな危険が潜んでいるかわからないので杖などで安全を確認しながら歩きましょう。
- 風で危険な物が飛んでくる恐れがあるので、ヘルメットや防災ずきん、または厚手の帽子などをかぶるようにしましょう。
- 災害に備え隣近所で声かけ合い集団で避難しましょう。